



議場風景（3月定例会）

3月定例会

# 平成27年度一般会計予算は 258億8千万円 (前年度当初比0.1%増)

3月定例会には、市長提出議案24件が提出され、すべてを原案のとおり可決・同意しました。

また、議員提出議案2件が提出され、いずれも可決しました。

主な議案の内容等は次のとおりです。

当初予算

「人口減少対策」、「安心安全の確保」、  
「魅力あるまちの創出」を  
推進する重点施策

○平成27年度行田市一般会計  
予算  
(原案可決)

平成27年度予算は、多様化する行政需要に対応するため、徹底的なコスト縮減と、事業の選択と集中を図るとともに、「行田市版骨太の方針」の3つの柱を推進する重点施策や「まち・ひと・しごと創生」に向けた事業に財源を優先的に配分している。

●人口減少対策

子育て世帯の定住化を促進するための奨励金、優遇措置による積極的な企業誘致や市内中小企業への支援など、雇

用環境の創出を図っていく。

また、中学校卒業までの子ども医療費無料化、「きつぷプラザあおい」を拠点とした家庭訪問型の子育て支援や妊娠・出産・子育て期にワンストップで支援する「子育て世帯包括支援センター」の設置など、子育て環境の充実を図っていく。

さらに、足袋蔵などの改修等に対する助成、バスターミナルへの観光案内所の新設や行田市駅周辺におけるまち並み景観と賑わいの創出、ポータルルート整備の整備、併せて忍城おもてなし甲冑隊の活動やCMコンテストなどにより、本市の魅力発信し、交流人口の増加に努めていく。

●安心安全の確保

高齢者や障害者等が安心して暮らせるよう地域における支え合いの体制づくりを推進、防災行政無線の施設更新、はしご付消防自動車の更新や消防団へのデジタル無線機の整

備、木造住宅の耐震改修及び老朽化した空き家等の解体に対する補助など、防災体制を強化していく。

●魅力あるまちの創出

市民けんこう大学の開催や禁煙に対する助成など、市民の健康づくりを支援していく。また、市内小中学校のトイレを改修するとともに、少人数学級編制や小学校での英語教育など、引き続き、きめ細やかな教育を推進していく。

さらに、住宅用太陽光発電システム及び高効率給湯器の設置や電気自動車等の導入に対する補助など、「行田エコタウンの創出」に向けて取り組んでいく。

特別会計の合計額は

195億円余

○平成27年度の各種特別会計  
予算 (全て原案可決)

国民健康保険事業費特別会計など6特別会計の平成27年度予算は合計で195億9384万2千円である。

なお、公営企業会計の水道事業会計予算は25億2483万5千円である。

